

令和6年度 別府市 予算と事業

一般会計予算を
市民一人あたりに換算すると・・・

◎ 1年間に納める市税

13万812円 (前年度比 + 97円)

◎ 1年間に使われるお金

54万8,612円 (前年度比 + 27,863円)

※それぞれ令和6年3月31日現在の人口112,010人で算出

3月の市議会定例会で、別府市の令和6年度予算が決まりました。

令和6年度は、市制100周年の記念すべき年を迎え、市民総参加で祝う記念事業を始め、新湯治・ウェルネスの推進、こどもまんなか社会の実現、安全・安心なまちづくり、観光振興・経済対策など、市民一人ひとりが幸せを実感できる予算を編成しました。

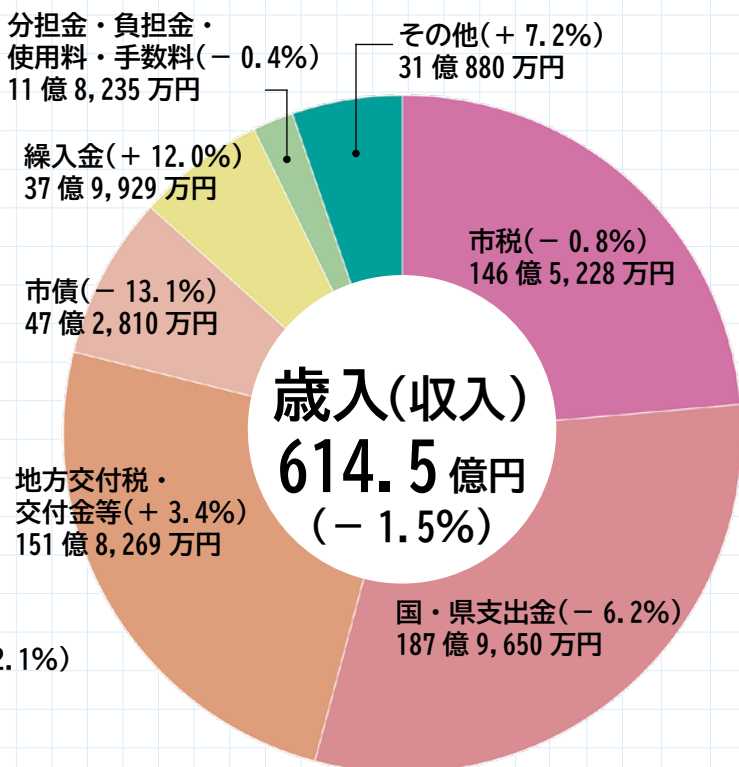
☎ 財政課 ☎ 21-1243

※表示している単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計金額と総計が一致しない場合があります。

()内は令和5年度6月補正後の数字との比較です。

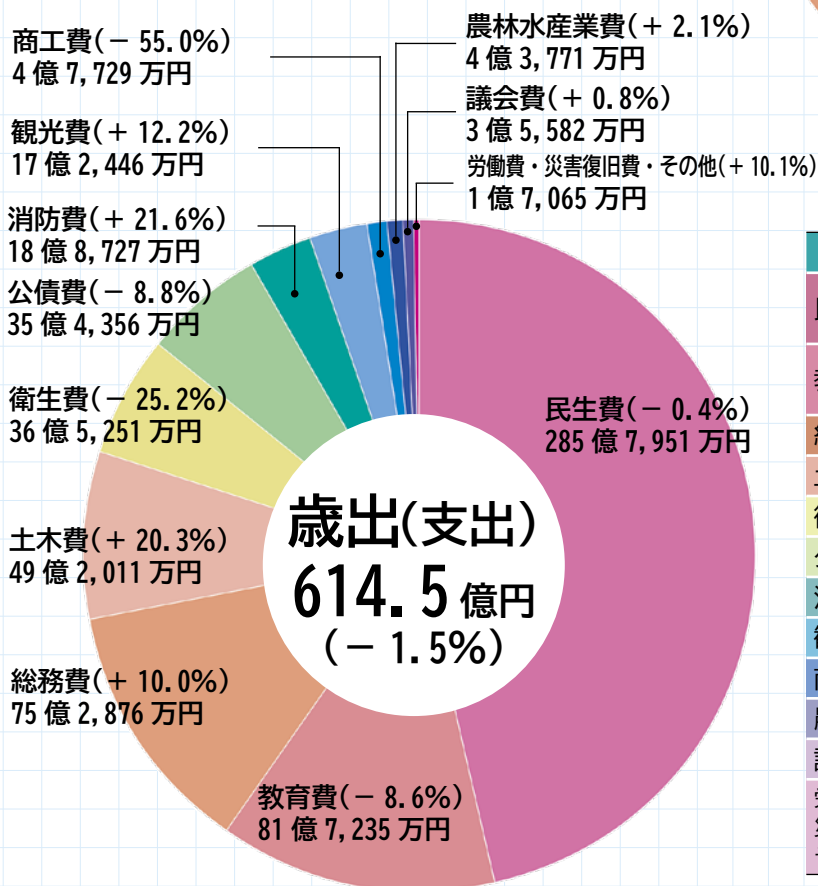
一般会計歳入

区分	用語の説明
市 税	皆さんからお預かりした税金 (市民税や固定資産税など)
国・県 支 出 金	使い方が定められている国・県からの 負担金・補助金・委託金
地方交付税 交 付 金 等	使い方が定められていない地方交付税 や国・県からの各種譲与税・交付金など
市 債	市が国や銀行などから借りる長期借入金
繰 入 金	特定の目的のために資金の積み立てを 行う各基金などから繰り入れるお金
分担金・負担金 使用料・手数料	保育料・ごみ処理手数料など 皆さんに負担していただいた収入



一般会計歳出

区分	用語の説明
民 生 費	社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などにかかる経費
教 育 費	幼稚園・小・中学校教育、社会教育、スポーツ振興などにかかる経費
総 務 費	市役所の管理や一般的な事務などにかかる経費
土 木 費	道路、街路、公園整備、海岸整備などにかかる経費
衛 生 費	健康増進、ごみ処理、環境保全などにかかる経費
公 債 費	市債の返済に係る経費
消 防 費	消防や防災対策などにかかる経費
観 光 費	観光振興、温泉管理などにかかる経費
商 工 費	商工振興などにかかる経費
農林水産業費	農林水産業振興などにかかる経費
議 会 費	市議会の運営などにかかる経費
労 働 費 災 害 復 旧 費 そ の 他	消費者・勤労者対策、災害復旧などにかかる経費、その他の経費



令和6年度当初予算の概要は市ホームページでも紹介しています▶



「市政」→「財政」→「市の予算（当初予算）」

入湯税充当明細

充当先事業	金額
衛生費	2,156万円
じんかい処理費	1,773万円
し尿処理費	383万円
観光費	4億6,199万円
別府市観光みらい創造基金積立金（入湯税超過課税分）	2億540万円
観光客誘致事業	5,189万円
観光施設費	1億958万円
温泉施設費	9,512万円
消費費	8,407万円
消防施設費	8,407万円
合計	5億6,762万円

特別会計予算額

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険事業	131億2,800万円	+1.2%
競輪事業	—	皆減
公共用地先行取得事業	100万円	0.0%
地方卸売市場事業	4,800万円	+6.7%
介護保険事業	140億2,900万円	+1.2%
後期高齢者医療	24億8,800万円	+17.0%
合計	296億9,400万円	-52.0%

※競輪事業会計は公営企業会計に移行しました。

入湯税超過課税分の使途

（別府市観光みらい創造基金繰入金）

使途	金額
温泉資源の保護、確保	4,558万円
観光客の快適性確保（ストレスフリー）	1,421万円
観光客の安全・安心の確保	2,077万円
観光客を増加させるための事業推進	7,547万円
観光客の受入体制の充実	977万円
合計	1億6,580万円

入湯税の超過課税分は、温泉資源の保護や観光客の受入体制の充実などに使われます。

重点事業

まちの創生

「ひととまちをまもり、地域と地域が連携する取組」

図書館等一体的整備事業

（19億7393万円）

別府市新図書館等整備基本計画（令和2年3月策定）に基づき、地域課題の解決や市民一人ひとりの自己実現に資するため、新図書館等複合施設の建設を進めます。



南部振興事業

（1億9022万円）

中心市街地の賑わいと安全・快適に暮らせるまちの実現のため、楠銀天街のアーケードの撤去、市道日の出国分町線の道路整備を行います。

交通空白地域対策事業

（5445万円）

交通空白地等において、当

該地域の住民や観光旅客、来訪する人などの移動手段を確保します。

体育施設整備事業

（2億3734万円）

利便性向上のため、実相寺サッカースタジアム夜間照明ほか6体育施設の改修を行います。

ひとの創生

「ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる取組」

子どもの未来創造事業

（3144万円）

子どもに関する情報を集約・整理・判定するシステムにより、市内の全ての子ども情報を一元化し、必要な情報等を現場と共有して、関係機関と連携し、それぞれの子どもと家庭の実情に沿った支援体制強化を図ります。

病児保育事業

（3407万円）

子どもが一時的に病気になる際に保育所に代わって保育を行う病児保育事業を2か所で実施し、保護者が安心して子育てを行える環境づくりを推進します。

グローバル人材育成事業

（886万円）

全小中学生を対象とした留学生等との交流活動を実施し、多様な価値観をもった人への理解や協働する態度を育み、国際理解教育を推進します。

幼稚園施設整備事業

（946万円）

就学前教育・保育ビジョンに基づき、朝日幼稚園改修の実施設計を行います。

つごとの創生

「新しいひとの流れをつくり、受け入れ、儲かる別府に進化する取組」

別府ツーリズムバレー推進事業

（7100万円）

起業・創業支援、ワーケーション推進、ヒト・企業交流などツーリズムバレー構想の実現に向けた事業を実施します。

移住定住促進事業

（3672万円）

移住を検討している人に対し、相談会の開催や市内の空き家を活用したおためし移住施設の利用など、情報発信や移住のためのサポートを行い、移住促進を図ります。

市制100周年記念事業

(3億5670万円)

記念式典やイベントを実施する市制100周年記念事業実行委員会負担金、100周年の冠事業となる別府八湯温泉まつりなど100周年の節目として、小さく、このまちの大切な価値を見つめ直し、守り、磨きをかけ、輝きにあふれた別府を100年先の未来へ渡すために市民総参加で取り組みます。

新湯治・ウェルネスの推進

(1億581万円)

「リゾート産後ケア事業」、個々人の腸内環境タイプに基づいて最適な温泉ツアーを提供する「泉質・パーソナライズ研究事業」、ウェルネス産業を支える人材を育成する「人材育成プログラム等策定事業」やブランド化に向けた情報発信事業など「医療・美容・健康」をテーマに温泉の効能を科学的根拠で示し、特別な体験を提供する新しい観光を推進します。

こども政策の推進

■児童手当支給事業

(16億2799万円)

児童手当法に基づき、児童を養育する支給対象者に児童手当の支給を行います。令和6年10月から所得制限の撤廃や高校生までの支給期間の延長、多子世帯への増額の抜本的拡充を実施予定です。

■子ども医療費助成事業

(3億8966万円)

子どもの疾病の早期発見と治療を促進するため、未就学児及び小中学生の通院、調剤、入院に要する経費の助成を行うとともに、令和6年4月から助成の対象を拡充し、高校生等の通院、調剤、入院についても助成を実施します。(一部自己負担あり)

■給食食材費高騰対策事業

(6201万円)

食材費が高騰する中でも子どもの成長に必要な栄養バランスや量を保った食事が提供できるように、給食費提供に係る食材費高騰相当額を補助します。

■給食費保護者負担軽減事業

(2億2833万円)

子育て世帯の保護者の経済的負担軽減を図り、移住・定住を促進して子育て環境の魅力の1つとするため、児童等の保護

者が負担する給食費の半額または全額を補助します。

■放課後児童クラブ施設整備事業

(7884万円)

山の手キッズ児童クラブ利用者の増加が見込まれるため、第3児童クラブ室の整備を行います。

■児童育成支援拠点事業

(1367万円)

養育環境等に課題を抱える家庭や学校に居場所のない子ども等に対し、居場所となる場を開設し、子どもとその家庭が抱える多様な課題に応じた総合的な支援を行います。

■就学前教育振興事業

(1819万円)

認可保育所、私立幼稚園から認定こども園へ移行する施設、5歳児の受入れ人数を拡充する認可保育所、私立幼稚園、認定こども園に対し、補助金を交付することで子どもたちに質の高い教育・保育を提供します。

■登校支援事業

(2068万円)

学校に登校しづらい状況に

ある児童生徒への支援を充実させることによって、誰一人取り残さない全ての学びを保障し、豊かな人生を送るための社会的自立を目指します。

安全・安心なまちづくり

■見守りカメラ設置事業

(4114万円)

地域住民の安心・安全のためカメラを設置し、犯罪の未然防止、市民の防犯への意識向上を図ります。

■保健センター改修事業

(1億4904万円)

別府市保健センターを初期救急医療の拠点と位置付け、支援体制や環境を整備し、市民の健康保持・増進を図ります。

■高規格救急車購入事業

(8117万円)

突発的に発生する各災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、救急隊の増隊に伴い高規格救急車を整備します。

観光振興・経済対策

■インバウンド誘客事業

(2206万円)

台湾、タイからの誘客及び

連携強化を図ります。

■大阪・関西万博へ向けた連携事業

(3440万円)

大阪・関西万博へ向けた本市独自のプロモーションの展開等を実施し、松山市、福岡市、阿蘇市、高千穂町等と連携して、国内外へのプロモーションや販促ツールの制作、万博共同出展を行います。

■入湯税超過課税活用事業

(観光部門)

(6417万円)

入湯税超過課税の使途に関する5本の柱のうち、外国人観光案内所の運営や観光マーケットや育成事業、観光地の景観維持など観光客に対する快適性の確保、安全安心の確保、誘致事業、受入態勢の充実に資する施策を実施します。

■市民ホール整備事業

(1億3167万円)

市民ホール及び大分県との共用部分の施設・設備等について維持補修を行います。また国庫補助を受けて音響・照明・舞台機構の設備改修・更新を行います。